

大福研発第 452号
平成30年 3月22日

各 位

大分県社会福祉介護研修センター所長
(公 印 省 略)

平成30年度摂食・嚥下セミナーの開催について (通知)

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、当研修センターの研修事業の推進にご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、社会の高齢化が進むにつれて、摂食・嚥下、つまり口から食べることへの関心は高くなっており、摂食・嚥下に関して有効な支援を受けながらできるだけ自立した生活が続けられる地域づくりが求められています。

つきましては、摂食・嚥下について専門知識を有する人材の育成を目的に、「摂食・嚥下セミナー」を別紙要綱により開催いたしますので、ご案内申し上げます。

【 問い合わせ 】

大分県社会福祉介護研修センター
介護研修・総合相談部 河野 (この)
TEL : 097-552-6888
FAX : 097-552-6868

平成30年度 摂食・嚥下セミナー 開催要綱

- 1 目 的
「食」に関して何らかの問題を抱えている利用者に対し、摂食・嚥下機能の専門的知識・技術を活用し、チームとして質の高い支援を提供できる人材を育成することを目的とする。
- 2 開催期日 別紙日程のとおり
- 3 主 催 大分県社会福祉協議会 (大分県社会福祉介護研修センター)
共 催 おおいた「食」のリハビリテーション研究会
- 4 会 場 大分県社会福祉介護研修センター
- 5 対 象 者 「食」に携わる医療、介護、福祉職の方、摂食・嚥下等に興味のある方
(介護福祉士、ホームヘルパー、看護師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、栄養士、歯科衛生士、調理員、介護支援専門員等)
- 6 受 講 料 28,000円 (テキスト、資料代、実習費等込)
- 7 研修課程 別紙日程表参照
(講師陣は、大分県内の医師、歯科医師、介護福祉士、看護師、管理栄養士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、歯科衛生士の方々の予定です。)
- 8 定 員 50名 (先着順で、定員になり次第締め切ります。)
- 9 申込締切 平成30年 6月1日(金) 必着
- 10 申込方法 ①別紙の申込用紙に必要記載事項を記入し、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
②申込後、順次、受講決定通知を郵送にて送付いたします。
③申込後1週間を目安に、申込者宛に受講決定通知を送付します。
同封している振込用紙にて、2週間以内に受講料の振込みをしてください。(振込手数料は各自負担)

- 1 1 その他
- (1) 全課程修了者には、修了証を交付します。
 - (2) 昼食は各自でご準備ください。研修当日、受付の時間帯に会場
業者が注文も受けています。(お茶付き 500円)
 - (3) 自然災害により、研修の開催が困難であると判断した時は、急遽、
日程変更等の対応をとる場合があります。
その際は、当研修センターのホームページによりお知らせします。
 - (4) 適切な室温管理に努めていますが、個人差がありますので、温度
調節のできる服装でお越しください。
 - (5) 参加者に関する個人情報、参加者名簿の作成等、研修事業関連
の目的で使用し、他の目的で使用することはありません。

1 2 問い合わせ
申込先

〒870-0161

大分県大分市明野東3丁目4番1号

大分県社会福祉介護研修センター

介護研修・総合相談部 河野(こうの)

TEL : 097-552-6888

FAX : 097-552-6868

F A X 送 信 票

センター記載欄) 受付NO.

大分県社会福祉介護研修センター 行

F A X 番 号 0 9 7 - 5 5 2 - 6 8 6 8

申込締切・ 6 / 1 (金) 必着

平成30年度 摂食・嚥下セミナー受講申込書

ふりがな			性別
氏名			男 ・ 女
生年月日	昭和 平成	年 月 日	歳
法人名	社会福祉法人 ・ 社会医療法人 ・ 株式会社 ・ 有限会社 特定非営利活動法人 ・ その他 () ※該当するものに○をしてください		
	法人名		
所属名 (勤務先)			
住所 (※1)	〒		
	<input type="checkbox"/> 勤務先	TEL ()	
	<input type="checkbox"/> 自宅	FAX ()	
職種 (例:看護師(主任))	職名 ()	経験年数 年 ヶ月	
資格	・ 介護職員初任者研修課程 (訪問介護員1級、2級含む) ・ 介護職員実務者研修課程 ・ 介護福祉士 ・ 介護支援専門員 ・ 看護師 ・ 歯科衛生士 ・ 管理栄養士 ・ 栄養士 ・ 調理員 ・ 言語聴覚士 ・ 作業療法士 ・ 理学療法士 ・ 特になし ・ その他		

上記のとおり、参加申込します。 平成 年 月 日

※1 受講決定通知の送付先をご記入ください。(例) 事業所に送付希望の方は、「勤務先」にチェックしてください。

平成30年度 摂食・嚥下セミナー 日程

	月 日	時 間	講 義 名
1日目	6月22日(金)	9:00～ 9:30	受付
		9:30～ 9:50	開講式
		9:50～10:20	摂食・嚥下セミナーについて
		10:30～12:00	摂食・嚥下障害への対応と支援
		13:00～17:00	摂食・嚥下障害概説～嚥下のめかはずむ、スクリーニング～
2日目	6月30日(土)	8:30～11:30	摂食・嚥下リハビリテーションⅠ ～間接・直接訓練の実際～
		12:30～14:30	経口摂取確立のための呼吸・姿勢・摂食へのアシスト
		14:30～17:00	エンド・オブ・ライフにおける食支援について
3日目	7月29日(日)	9:00～11:30	食べるよろこびを支援する食事の介助
		12:30～14:00	口腔について ～口腔内評価と歯科的アプローチ～
		14:15～16:45	摂食・嚥下リハビリテーションⅡ ～口腔ケア実際～
4日目	8月9日(木)	9:00～12:00	栄養管理について 業者説明(食品関係)
		13:00～16:00	認知症・高次脳機能障害者の食事支援 次回の事例の説明
5日目	8月24日(金)	9:00～11:30	事例検討
		12:30～15:30	実践事例報告(セミナー修了者) 事例報告
		15:30～16:00	修了式

※カリキュラムの内容と順番については、変更の可能性がありますのでご了承ください。

※昼食休憩及び講義の休憩について、適宜とる予定にしております。

「摂食・嚥下セミナー」ってどんなことを学ぶの??



1日目

6月22日(金)

摂食嚥下障害への対応と支援 口から食べることの意義

～食リハ的視点から～ (衛藤宏氏)

「なぜ、「食」のリハビリテーションなのか?これから始まるセミナーに必要な基本知識を網羅した総論的講義です」

摂食・嚥下障害概説～嚥下のめかにすむ～

摂食・嚥下障害の評価～嚥下のスクリーニング～ (森淳一氏)

「口から食べられないことの本当の問題を提示しながら、動画や図で摂食嚥下のしくみを説明します。

なぜ食べられないのか、食べないのかを評価で確認するための一般的な方法を、実技を交えながら学びます」

2日目

6月30日(土)

摂食・嚥下リハビリテーションⅠ 間接・直接訓練の実際

(木村暢夫氏、山本周平氏)

「明日から使える摂食嚥下訓練を習得しよう!!

口から安全においしく食べる支援に向けて～」

経口摂取確立のための呼吸、姿勢、摂食へのアシスト

(梅野裕昭氏・浅倉秀剛氏)

安全な経口摂取・不顕性誤嚥の予防のために、現場でできるポジショニングについて、実技を交えながらお伝えします。また、嚥下に必要な呼吸機能の基礎知識や食事の自立度を高める便利な道具もご紹介します。

エンド・オブ・ライフにおける食支援について (事例での考察)

(木本ちはる氏)

人生の最終段階において、「その人らしさ」とは? 「その人の希望する療養場所で、可能な限り美味しく食べる」支援について事例を交え一緒に考えてみませんか?

3日目

7月29日(日)

食べる喜びを支援する食事の介助 (藤花由美子氏)

「あなたは、どんな時に食べる喜びを感じますか? 食事の介助で「その人の手になる」ということは・・・?」

口腔について～口腔内評価と歯科的アプローチ～ (大分県歯科医師会)

「口腔疾患とその対応。嚥下障害の評価、嚥下障害・誤嚥性肺炎の既往のある要介護者へ、予防の観点から口腔ケアについて学びます」

摂食・嚥下リハビリテーションⅡ 口腔ケア実際 (大分県歯科衛生士会)

「口腔ケアの本質はなんなのかを概説し、実習を通して疑問や次の日から実践出来るように一緒に考え学びます」

4日目

8月9日(木)

栄養管理について (曾我優子氏)

『食べることは生きること』最期まで『美味しく食べる』にこだわって、元気と笑顔を実現しよう!!

認知症・高次脳機能障害者の食事支援 (森淳一氏)

この障害を持つ人が、どのように食べるのか、食品を認識しているのかを学び、具体的な対応を一緒に考えます。

5日目

8月24日(金)

事例検討・事例報告

提示された症例をグループで、予後・目標・訓練内容などを検討します。ディスカッションを通して実践力を身につけよう!

